

大正二年一月	二、六二五	二、七四一	三、一四	六、二八	同	七	二、六二三	二、七四〇	三、一五	六、二八
同 二月	二、六二七	二、七四三	三、一四	六、二八	同	八	二、六二八	二、七四一	三、一四	六、二七
同 三月	二、六二五	二、七四四	三、一四	六、二八	同	九	二、六二八	二、七四三	三、一五	六、二八
同 元年度平均	二、六二五	二、七四一	三、一四	六、二九	同	十	二、四一七	二、五四四	三、〇六	五九、〇
同 二年四月	二、六二七	二、七四四	三、一四	六、二八	同	十一月	二、四一八	二、五四二	三、〇六	五八、九
同 五月	二、六二六	二、七四二	三、一四	六、二八	同	十二月	二、四一四	二、五三六	三、〇五	五九、〇
同 六月	二、六二六	二、七四三	三、一五	六、二八	同					

第七節 鹽ノ移出及輸出

輸出貿易獎勵ノ爲外國ニ輸出スル鹽ニ付テハ特定ノ廉價ヲ以テ賣渡シ又專賣收益率ヲ加ヘテ賣渡シタル一般定價鹽又ハ其ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル鯨、鱒ヲ外國ニ輸出シタルトキハ請求ニ依リ交付金ヲ下付スルコトノ特典ヲ與ヘタリ然レトモ左ノ場合ニハ其ノ特典ヲ受クル能ハサルモノトス

- 一 特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ニ付テハ賣渡ノ日ヨリ六箇月以内ニ其ノ鹽ヲ輸出シ外國ニ陸揚シタルコトヲ證明スルニアラサレハ特別定價ト一般定價トノ差額及其ノ十分一二相當スル金額ヲ追徴セラルルコト
- 一 一般定價ヲ以テ賣渡シタル鹽又ハ其ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル鯨、鱒ニ付テハ輸出後六箇月以内ニ輸出並外國ニ陸揚シタルコトヲ證明シ交付金ノ下付ヲ請求スルニアラサレハ之ヲ交付セサルコト

- 一 輸出申告書ニ記載シタル寄港地外ノ内國沿岸ニ寄港シタルトキ
 - 一 一般定價鹽又ハ鹽藏魚類ノ一回ノ輸出數量千斤未滿ナルトキ
- 勅令第百五十七號 (明治三十八年五月八日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則(抄録)

第十一條 外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ外國ニ輸出セムトスルトキ

ハ其ノ輸出申告書ニ少クトモ鹽ノ數量輸出先積載スヘキ船舶名及其ノ内國寄港地ヲ記載スヘシ

前項ノ申告アリタルトキハ稅關ハ鹽ノ數量ヲ檢定スヘシ

第十四條 外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ賣渡ノ日ヨリ六箇月以

内ニ左ノ書類ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ

一 輸出免狀又ハ外國ニ輸出シタルコトヲ證明スヘキ書類

二 外國ニ陸揚シタルコトヲ證明スヘキ書類

第十六條 特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ特別定價ト

一般定價トノ差額及其ノ十分ノ一ニ相當スル金額ヲ追徴ス(抄録)

三 第十一條ノ輸出申告書ニ記載シタル寄港地以外ノ内國沿岸ニ寄港シタルトキ但シ海難

其ノ他止ムヲ得サル事故アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

四 第十四條(中略)ニ依リ提出スヘキ書類ヲ提出セサルトキ

外國ニ輸出スル爲(中略)特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル者ノ其ノ目的ニ供シタル鹽ノ數量カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ對シ不足シタル場合ニ於テ正當ノ事由ナシト認メタルトキハ鹽務局ハ其ノ不足額ニ對シ前項ノ金額ヲ追徴スルコトヲ得(以下省略)

第十九條 一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ左ノ目的ニ供シタル者ハ左ノ割合ヲ以テ交付

金ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

一 外國ニ輸出シタルトキ

鹽 百斤ニ付 金一圓四十八錢

二 其ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル練又ハ鯖ヲ輸出シタルトキ

鹽水漬練 百斤ニ付 金七十四錢

鹽漬練 百斤ニ付 金五十一錢

鹽水漬鯖 百斤ニ付 金七十四錢

三 省略

四 省略

第二十條 前條第一號又ハ第二號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ申請書ニ左ノ書

類ヲ添附シ之ヲ輸出港税關ニ提出スヘシ

一 輸出免狀又ハ外國ニ輸出シタルコトヲ證明スヘキ書類

二 外國ニ陸揚シタルコトヲ證明スヘキ書類

第二十一條 第十九條第一號又ハ第二號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ其ノ輸出

申告書ニ少クトモ鹽又ハ鹽藏魚類ノ數量、輸出先、積載スヘキ船舶名及其ノ内國寄港地ヲ記載

スヘシ

前項ノ申告アリタルトキハ税關ハ鹽又ハ鹽藏魚類ノ數量ヲ檢定スヘシ

第二十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ交付金ノ下付ヲ請求スルコトヲ得ス

一 外國へ輸出シタル鹽又ハ鹽藏魚類ニ付テハ輸出後(中略)六箇月ヲ經過シテ出願シタルト

キ

二 外國ニ輸出スル鹽又ハ鹽藏魚類ニ付テハ一回ノ輸出量千斤未滿(中略)ナルモノニ關シテ

出願シタルトキ

三 第二十一條ノ輸出申告書(中略)ニ記載シタル寄港地以外ノ内國沿岸ニ寄港シタルトキ但

シ海難其ノ他止ムヲ得サル事故アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス
右規則ニ基キ鹽又ハ鹽藏魚類ノ輸出ニ關シ稅關ニ於ケル取扱方ヲ制定シタルコト左ノ如シ

大藏省訓令第四十二號 (明治三十八年五月九日)

△稅 關

明治三十八年勅令第一百五十七號ニ依ル鹽及鹽藏物ノ輸出並交付金下付ニ關シ稅關事務取扱方
左ノ通心得ヘシ

第一條 特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者鹽ノ輸出申告書ヲ提出シタルトキハ鹽務局ヨ
リ發シタル鹽賣渡通知書ニ照查シ現品ヲ検査シテ其ノ數量ヲ檢定スヘシ

第二條 前條ノ檢定ハ鹽ノ重量ヲ秤量シテ之ヲ定ムヘシ但シ同一包裝ニシテ同一數量ト認メ
ラルル鹽ニ在リテハ百ニ付五ノ割合(百ニ付五ノ割合カ總數五十以上ニ上ルトキハ五十トス)
ヲ以テ適宜包裝ヲ摘出シ其ノ數量ヨリ風袋量ヲ控除シ包裝數ニテ除シ之ヲ總包裝數ニ乘シ
テ鹽ノ數量ヲ定ムルコトヲ得

第三條 特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ノ輸出ヲ爲シタル者アルトキハ毎月末日第一號書
式ニ依リ輸出年月日輸出數量輸出先及輸出者ノ氏名ヲ記入シタル輸出通知書ヲ賣渡鹽務局
ニ送付スヘシ

第四條 一般定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者鹽ノ輸出申告書ヲ提出シタルトキハ現品ヲ檢
査シ第二條ニ依リ其ノ數量ヲ檢定スヘシ

第五條 鹽藏シタル鰈又ハ鯖ノ輸出申告書ヲ提出シタルトキハ現品ヲ検査シ第二條ニ準シ鹽
藏魚類ノ重量ヲ檢定スヘシ

第六條 鹽又ハ鹽藏魚類ノ輸出ヲナシタル者交付金ノ下付ヲ請求セムトスルトキハ第二號書

第六條 鹽又ハ鹽藏魚類ノ輸出ヲナシタル者交付金ノ下付ヲ請求セムトスルトキハ第二號書

式ニ依リ鹽又ハ鹽藏魚類ノ數量輸出先積載船舶名寄港地及輸出年月日ヲ記入シタル交付金下付請求書ヲ提出セシメ輸出申告書及明治三十八年勅令第一百五十七號第二十條ニ依リ提出スヘキ添附書類ヲ調査シ交付金下付ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 稅關ハ第三號書式ノ鹽及鹽藏魚類輸出整理簿ヲ設備シ鹽賣渡通知書鹽及鹽藏魚類輸出申告書交付金下付請求書等ニ依リ必要ノ事項ヲ記入スヘシ

第八條 稅關ハ毎月第四號書式ニ依リ鹽又鹽藏魚類輸出報告表ヲ調製シ翌月二十日マテニ大藏省ニ報告スヘシ

第一號書式 (輪廓縦六寸横五寸)

特別定價鹽輸出通知書		
輸 出 年 月 日	輸 出 量	輸 出 先
明治何年何月何日	何斤	何々
明治何年何月何日	何斤	何々
		輸 出 者 住 所 氏 名
		何府縣何郡市町村 何 某
		何府縣何郡市町村 何 某
明治何年何月何日		何 稅 關
何鹽務局(何出張所)宛		

第二號書式

輸出鹽(輸出鹽藏魚類)交付金下付請求書		
一 鹽(鹽水漬鯨又ハ鹽水漬鱈)何斤	輸 出 先	何々
	船 舶 名	何々
	寄 港 地	何々
	輸 出 年 月 日	明治何年何月何日
右交付金何程御下付相成度別紙證明書類相添此段相願候也		
何府縣何郡市何町村何番地		
明治何年何月何日		何 稅 關
稅關長宛		某

第三號書式 (鹽及鹽藏魚類輸出整理簿)

申 告			交 付 金 請 求		備 考
輸 出 物 量	輸 出 先	積 載 船 名	年 月 日	金 額	
何 斤	何 々	何 々	明 治 何 年 何 月 何 日	何 程	
何 斤	何 々	何 々	明 治 何 年 何 月 何 日	何 程	

住 所 氏 名	鹽 務 局 通 知		輸 出	
	賣渡年月日	賣渡數量	輸出年月日	輸 出 物 類
何 郡 市 何 町 村 何 某 何 郡 市 何 町 村 何 某	明 治 何 年 何 月 何 日	何 斤	明 治 何 年 何 月 何 日 明 治 何 年 何 月 何 日	何 何

鹽 及 鹽 藏 魚 類 輸 出 報 告 表

區 分	本 月 分	累 計	備 考
鹽 務 局 通 知	斤	斤	
何 鹽 務 局			
何 鹽 務 局 何 出 張 所			
輸 出 申 告			
鹽			
鹽 水 漬 鯖			
鹽 水 漬 練			
鹽 漬 練			
交 付 金 請 求			
鹽			
鹽 水 漬 鯖			
鹽 水 漬 練			
鹽 漬 練			

備 考

一 本表交付金請求ニ在リテハ其ノ金額ヲ備考欄ニ記入スヘシ
一 本表累計ハ四月ヨリ翌年三月ニ至ル分ヲ累計上スヘシ

明 治 何 年 何 月 何 日 何 稅 關 長 氏 名 團

第 四 號 書 式 (輪廓縦六寸横九寸)

明治三十九年三月法律第十五號ヲ以テ鹽專賣法ヲ改正シ專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽ニ對シテモ外國輸出鹽ト同様ノ特典ヲ與フルコトトシ同時ニ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ヲ左記ノ如ク改正シ移出鹽ノ特別定價賣渡及交付金下付ニ付テハ輸出鹽ニ關スル規定ヲ準用シ又移出事務ハ鹽務局ニ於テ之ヲ行フコトトシ而シテ其ノ施行期日ヲ同年四月一日ト定メタリ

勅令第三十六號 (明治三十九年三月二十九日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第二十八條 鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽ノ特別定價賣渡及交付金下付ニ付テハ本

令中外國輸出鹽ニ關スル規定ヲ準用ス但シ第十一條第二項第二十條及第二十一條第二項準用ノ場合ニ於テ稅關ノ事務ハ移出地所轄鹽務局之ヲ行フ

鹽專賣法上樺太ハ其ノ占領當時ニ於テハ内地同様ノ取扱ヲ爲シタルモ其ノ後帝國領土ニ歸シタルヲ以テ省議決定ノ上明治三十九年五月以降同島ニハ專賣法ヲ施行セサルコトニ取扱ヒタリ

大藏省主稅局長通牒第二〇二七號 (明治三十九年五月十日)

鹽專賣法上樺太島ニ關シテハ客年八月三十一日付臨三五七七號ヲ以テ通牒致置候處爾後同島ハ帝國領土ニ歸シタルモ特別ノ規定アルモノノ外當分現行法令ハ施行セサルモノト解釋シ從テ鹽專賣法ノ如キモ同地ニハ施行セサルコトニ省議決定シタリ

漁獲物鹽藏用鹽ハ假令外國ニ於テ漁獲鹽藏スルモノト雖法規上漁業用鹽ノ手續ニ依ルハ勿論ノコトナルモ此ノ取扱ニ依ルトキハ當業者ハ種々ノ不便ヲ感シ苦痛ナルニ付輸出鹽トシテ取扱アリタキ旨露領沿海州水産組合ヨリ請願シタルヲ以テ省議決定ノ上明治四十二年出漁期後同組合員ノ使用スル漁業鹽ニ對シ輸出鹽ノ特別取扱ヲ爲スコトトシ尋テ又樺太建網業水産組合聯合會ヨリノ請願ニ依リ同年六月樺太島ニ於ケル漁獲物鹽藏用鹽ニ對シテモ移出鹽ノ手續ニ依リ取扱ヲ爲スコトトシタリ

移出鹽ノ検査取締上遺憾ナキヲ期スル爲明治四十二年八月鹽專賣法施行地外移出鹽検査手續ヲ制定シタルコト左ノ如シ

專賣局長官達甲第二五八六號 (明治四十二年八月十四日)

明治三十八年勅令第五百十七號專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ニ依リ鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽ノ検査手續別冊ノ通相定ム

鹽專賣法施行地外移出鹽検査手續

第一條 鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ鹽ヲ移出セムトスル者アルトキハ第一號書式ニ依リ鹽移

出申告書ヲ提出セシムヘシ

前項申告書ハ其ノ用紙ヲ備ヘ置キ移出者ノ請求ニ依リ之ヲ交付スヘシ

第二條 鹽專賣法第十九條第一項第一號ニ依リ賣渡シタル鹽ヲ移出セムトスル者アルトキハ現品引渡前其ノ鹽ノ移出申告書ヲ提出セシムヘシ

前項ノ移出申告書ヲ受理シタルトキハ現品包裝ニ左記赤色ノ記號ヲ押捺シタル後第二號書式ノ移出鹽検査證ニ必要事項ノ記入及認印ヲ爲シ之ヲ移出申告者ニ交付スヘシ

イ 直徑二寸五分

第三條 前條ニ依リ移出シタル鹽ヲ鹽專賣法施行地内ノ寄港地ニ於テ更ニ他ノ船舶ニ積替ヘムトスル者アルトキハ移出申告書摘要欄ニ其ノ積替港ヲ記載セシメ第三號書式ノ移出鹽積替通知書ヲ其ノ地所轄鹽專賣官署ニ發送スヘシ

前項通知ヲ受ケタル鹽專賣官署ニ於テハ移出申告者ヲシテ移出鹽検査證ヲ提出セシメ積替通知書及現品ト對查シテ其ノ積替ヲ監視スヘシ

積替終了シタルトキハ移出鹽検査證ニ積替月日ヲ記入シ認印ヲ爲シ之ヲ移出申告者ニ交付スヘシ

第四條 鹽專賣法第十八條又ハ第十九條第一項第三號ニ依リ賣渡シタル鹽ノ移出申告書ヲ受理シタルトキハ現品ヲ檢定シタル上第二條第二項ノ手續ヲ爲スヘシ

鹽專賣法第十九條第一項第三號ニ依リ賣渡シタル鹽ヲ直ニ移出スル場合ニ於テハ第二條ノ手續ヲ爲スヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ左記赤色ノ記號ヲ押捺スヘシ

イ 直徑二寸五分ノ圓内ニ畫キタルモノ

第五條 移出鹽ノ檢定ハ左記ノ方法ニ依ルヘシ

一 移出鹽ハ船積前陸上ニ於テ包裝種別毎ニ腹合セニ積立テシメ之ヲ檢定スヘシ但シ舢船積込後ノモノニシテ排列正シク檢定及記號押捺ニ差支ナキ場合ニ限り舢船中ニ於テ之ヲ檢定スルコトヲ得

二 前號ノ移出鹽ハ鹽全部ノ重量ヲ秤量シ其ノ數量ヲ定ム但シ同一包裝鹽ニ在リテハ百ニ付五ノ割合(五十以上ニ上ルトキハ五十ニ止ム)ヲ以テ適宜包裝ヲ摘出秤量シ其ノ數量ヨリ風袋量ヲ控除シタル平均量目ヲ全包裝數ニ乘シテ其ノ數量ヲ算定スルコトヲ得

第六條 移出鹽ヲ積載スヘキ船舶ニハ監視官吏ヲ乗船セシメ積込終了ノ時期迄引續キ之ヲ監視セシムヘシ但シ即日積込終了セサルトキハ各艙口及必要ト認ムル箇所ニ封印ヲ施シ翌日乗船ノ際之ヲ解除スヘシ

第七條 第二條及第四條ノ手續ヲ經タル鹽ヲ積載シタル舢船本船ニ到達シタルトキハ乗船監視官吏ハ鹽ノ移出申告者ヲシテ移出鹽檢査證ヲ提出セシメ積載船名積込數量等ト對照シテ總テ其ノ符合ヲ認メタル後移出鹽檢査證ニ必要事項ノ記入及認印ヲ爲シ積込終了後之ヲ移出申告者ニ交付スヘシ

鹽ノ積込ヲ終リタル後尙引續キ碇泊スル船舶ニ對シテハ監視官吏ヲシテ時々之ニ臨檢セシメ相當取締ヲ爲サシムヘシ

第八條 鹽專賣法第十八條又ハ第十九條第一項第三號ニ依リ賣渡ヲ受ケタル鹽ト第十九條第一項第一號ニ依リ賣渡ヲ受ケタル鹽ト同一船舶ニ積合ストキ又ハ移出者若ハ移出先ヲ異ニスルニ口以上ノ鹽ヲ同一船舶ニ積合セ移出スルトキハ掛繩其ノ他適宜ノ方法ヲ施シ其ノ區分ヲ明ニセシムヘシ

第九條 移出鹽檢査證ハ寄港地及移出先ニ於テ臨檢官吏ノ認印ヲ受ケシメ專賣鹽特別定價賣

渡及交付金下付規則第十四條及第二十條ニ依ル鹽ノ移出證憑書類トシテ陸揚證明書ト共ニ之ヲ提出セシムヘシ

第十條 移出鹽積載船出港シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ移出先所轄官衙ニ通知スヘシ其ノ樺太ニ移出シタルモノニ對シテハ第四號書式ノ鹽移出通知書ヲ移出先所轄樺太廳支廳又ハ同出張所へ發送スヘシ

第十一條 移出鹽積載船ニシテ鹽專賣法施行地内ニ寄港セムトスルモノアルトキハ出港地所轄鹽專賣官署ハ寄港地所轄鹽專賣官署ニ對シ第五號書式ノ移出鹽積載船寄港通知書ヲ發送スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル鹽專賣官署ハ當該積載船ノ入港ヲ待チ之ニ臨檢シ取締上遺漏ナキヲ期スヘシ其ノ碇泊中ニ於テモ亦同シ

第十二條 海難其ノ他已ムヲ得サル事由ノ爲第二條第二項及第四條第三項ニ依リ附著シタル記號ヲ抹消スル必要ヲ生シタルトキハ左ノ黑色ノ記號ヲ重ネテ附著スヘシ

消

直徑三寸

第一號書式 (用紙半紙)

受付番號	鹽移出申告書
移出申告者住所氏名	府 縣 市 郡 町 大字 番地 名
申告月日	鹽使用漁場名稱及番號
積載船船種船名	出港月日
登簿噸數	寄港地名
船長氏名	寄港地著船豫定月日

移出先地名	等級	移出先著船豫定月日	摘要
	包裝種別		
包裝箇數	數量	入單價	摘 要
課長	取扱主任	現品検査官吏	

第四號書式 (用紙半紙)

第 號	移出鹽出港通知書			
移出申告者	縣 府 市 郡 村 町 大字 番地			
住所氏名	氏 名			
積載船名	陸揚地名			
登簿噸數	著船豫定月日			
船長氏名	鹽使用漁場) 名稱及番號)			
積載港名及出港月日	積合鹽ノ有無			
等級	包裝種別	包裝箇數	數量	入單價
計			百斤當買	摘 要

明治四十年 月 日
何專賣支局(何出張所)長官 氏 名 圖
樺太廳(何出張所)長官氏名殿

第五號書式 (用紙半紙)

第 號	移出鹽積載船寄港通知書			
移出申告者	縣 府 市 郡 村 町 大字 番地			
住所氏名	氏 名			
積載船名	出港月日			
登簿噸數	寄港地名			
船長氏名	寄港豫定月日			
移出先地名	移出鹽檢査證番號			
等級	包裝種別	包裝箇數	數量	入單價
計			百斤當買	摘 要

明治四十年 月 日
何專賣支局(何出張所)長官 氏 名 圖
何專賣支局(何出張所)長官氏名殿

專賣局收納部長通牒甲第二五八六號ノ二 (明治四十二年八月十四日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ニ依ル鹽竝鹽藏物検査ニ關スル取扱手續ノ件ニ付テハ客年五月二十一日甲第二一一三號ヲ以テ長官ヨリ御訓達ノ次第有之候處今般鹽專賣法ヲ施行セサル地ヘ移出スル鹽ノ検査手續制定相成候ニ付左記ノ點特ニ注意可相成候

一 鹽專賣法施行地外ニ移出スル爲賣渡シタル鹽ハ其ノ賣渡地ニ於テ直ニ移出ノ手續ヲ完了シ出港セシムヘキモノニシテ輸出鹽ノ如ク出港地カ必ス開

港場タルヲ要セス故ニ第二條ノ規定ヲ設ケラレタルモノナルニ依リ賣渡請求書ニ記載シタル鹽ノ等級數量等ハ自然移出申告書及移出鹽検査證ト符

合スヘク從テ其ノ移出鹽検査證中検査月日欄ニハ現品引渡月日ヲ記入シ検査官吏欄ニハ現品引渡官吏署名捺印スルコト尙右検査證ヲ交付シタル後ハ其ノ鹽ノ積載船發航スル迄取締上不斷ノ注意ヲ拂フヘキコト

二 鹽ノ買受地ニ於テ移出ノ手續ヲ完了スルモ更ニ他ノ地ニ於テ(例ヘハ阪出ニ於テ買受ケタル鹽ヲ函館ニ於テ)他ノ船ニ積替フ爲ス必要アル場合ナキ

ヲ保セス故ニ第三條ノ規定ヲ設ケラレタルモノナレハ移出鹽積替通知書ハ必ス其ノ地所轄支局若ハ出張所ニ發送スルコト尙其ノ通知ヲ受ケタル局所ニ於テハ必ス監視官吏ヲ立會セシメテ精穀ノ調査ヲ爲シ該通知書及移出鹽検査證ト對照シ現品數量ニ不足ヲ生スル等ノコトアル場合ハ遲滞ナク

其ノ成績ヲ鹽ノ賣渡局所ニ通報シ其ノ不足數量ニ對スル差金追徴ノ資料ニ供スルコト

三 一般定價鹽(專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條ノ二ニ依ル特別定價鹽ヲモ含ム以下同シ)ノ賣渡ヲ請求スル者現品引渡後直ニ之ヲ移出ス

ル場合ト雖移出鹽トシテ更ニ其ノ數量ヲ秤量スルトキハ自然賣渡數量ニ對シ幾分ノ減差ヲ生スル場合ナキヲ保セサルニ付第四條第二項ヲ規定セラレタルモ現品引渡後一旦買受人ノ倉庫ニ庫入シ若ハ他ノ地ニ回送シタル等ノ如キ鹽ニ對シ移出申告書ヲ提出シタルトキハ必ス第四條第一項ニ依リ檢定ヲ爲スヘキコト尙現品引渡後直ニ其ノ地ニ於テ輸出スル鹽ニ付テモ其ノ數量ハ賣渡數量ニ依ラシムル様豫テ關係稅關ト協議ヲ遂ケ夫々打合せヲ爲シ置クコト

四 鹽專賣法施行地外ニ航行スヘキ船舶ニ積載シタル一般定價鹽ニ對シ鹽買入地以外ノ地ニ於テ移出申告ヲ爲シタル場合ハ必ス檢定及記號押捺ニ差支ナキ限度ニ迄一應之ヲ解船中ニ積戻サシムル等手續上遺憾ナカラシムルコト

五 第六條ノ封印ハ雨露ノ爲破損セサル様可成封蠟若ハ錠前ヲ使用スルコト

六 第七條ノ場合ニ於テハ參考ノ爲荷送狀船荷證等當事者間ニ於テ其ノ鹽ノ受渡ニ關スル證憑書類トモ對査スルノ必要可有之尙其ノ移出鹽檢査書ヲ交付シタル後風符等ノ爲直ニ出港シ能ハサル場合ニ於テハ少クトモ毎日一回以上之ニ臨檢シ密移入等不正行爲ナカラシムヘキコト

七 第八條ノ場合ニ於テハ例ノ同一人ニシテ二口以上ノ鹽ヲ同一船舶ニ積合ス場合ト雖其ノ移出申告書ハ各別ニ之ヲ提出セシメ一口毎ニ掛編其ノ他適宜ノ方法ヲ以テ其ノ區分ヲ明カナラシメ各別ニ移出檢査證ヲ交付スルコト

八 移出鹽檢査證ハ唯一ノ移出證憑書類ナレハ之ヲ毀損若ハ紛失セサル様移出者ニ相當注意ヲ爲シ置クコト

九 邦領樺太以外ノ移出先所轄官衙ニ對シテハ陸揚證明書交付方ニ付豫メ相當打合せヲ爲シ置クハ勿論之ニ關シテハ常ニ相互氣脈ヲ通シテ遺漏ナキヲ期スルコト

十 移出鹽積載船寄港地所轄局所ニ於テハ該船舶碇泊中周到ノ注意ヲ以テ取締上遺漏ナキヲ期スヘク若シ其ノ鹽ニ付異狀アリト認メタルトキハ移出鹽檢査證相當欄ニ之ヲ記入スルト共ニ其ノ旨出港地所轄局所ヘ通報スルコト

十一 一日移出ノ手續ヲ完了シテ出港シタルモノハ目的地ヘ到達シタルト否トヲ問ハス之カ用途變更ハ勿論其ノ積戻ヲモ許可セサル方針ニ有之從テ第二條第二項若ハ第三條第三項ニ依リ附著シタル移出鹽ノ記號ヲ抹消スル必要ヲ生スルカ如キコトハ殆ト可無之而カモ尙第十二條ノ規定ヲ設ケラレタルモノハ出港後鹽專賣法施行地内ニ於テ其ノ鹽ノ積載船難破シ全部若ハ一部ノ鹽ハ之ヲ移出シ能ハサル等ノ場合若ハ止ムヲ得サル事由ニ依リ移入鹽トシテ二圓三十錢ノ收益率ヲ加算シテ現場賣買ヲ爲スカ如キ極メテ稀有ノ場合ニ於テ偶消印ヲ必要トスルコトナキヲ保シ難ク念ノ爲ニ之ヲ規定セラレタルモノニ付誤解ナキ様注意ノコト

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ヲ改正シ外國輸出鹽ニ對スル交付金ノ下付及鹽藏魚類ニ對スル追徵金ノ徵收事務ヲ專賣官署ノ管掌ニ移シタル爲メ稅關事務取扱方ヲ改正シ明治四十二年十一月一日ヨリ施行シタリ

大藏省訓令第二十五號 (明治四十二年十月二日)

稅 關

明治三十八年勅令第一百五十七號ニ依ル鹽及鹽藏魚類ノ輸出ニ關シ稅關事務取扱方左ノ通相定

第九章 販賣

明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十八年五月大藏省訓令第四十二號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第一條 鹽專賣法第十九條第一項第一號ニ依リ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者鹽ノ輸出申告書ヲ提出

シタルトキハ鹽專賣官署ヨリ發シタル鹽賣渡通知書ニ照査シ現品ヲ検査シテ其ノ數量ヲ檢

定スヘシ

第二條 前條ノ檢定ハ鹽全部ノ重量ヲ秤量シテ之ヲ定ムヘシ但シ同一包裝ニ在リテハ百ニ付

五ノ割合(五十以上ニ上ルトキハ五十二止ム)ヲ以テ適宜包裝ヲ摘出秤量シ其ノ數量ヨリ風袋
量ヲ控除シタル平均量目ヲ全包裝數ニ乘シテ其ノ數量ヲ算定スルコトヲ得

第三條 鹽專賣法第十八條又ハ第十九條第一項第三號ニ依リ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者鹽ノ輸出

申告書ヲ提出シタルトキハ現品ヲ検査シ第二條ニ依リ其ノ數量ヲ檢定スヘシ

第四條 鹽藏シタル鰾又ハ鯖ノ輸出申告書ヲ提出シタルトキハ現品ヲ検査シ第二條ニ準シ鹽

藏魚類ノ重量ヲ檢定スヘシ

第五條 鹽又ハ鹽藏魚類ヲ輸出シタル者アルトキハ毎月末日第一號書式ノ鹽及鹽藏魚類輸出

通知書ヲ調成シ第一條ニ該當スル鹽ニ付テハ賣渡鹽專賣官署ニ第三條ニ該當スル鹽及第四

條ニ該當スル鹽藏魚類ニ付テハ出港地所轄鹽專賣官署ニ之ヲ送付スヘシ

第六條 稅關ハ第二號書式ノ鹽及鹽藏魚類輸出整理簿ヲ設備シ鹽賣渡通知書、鹽及鹽藏魚類輸

出申告書等ニ依リ必要ノ事項ヲ記入スヘシ

第七條 稅關ハ毎月第三號書式ニ依リ鹽及鹽藏魚類輸出報告表ヲ調製シ翌月十五日迄ニ專賣

局ニ報告スヘシ

第八條 交付金ノ下付ヲ受ケタル鹽藏魚類ヲ輸入シタル者アルトキハ第四號書式ニ依リ鹽藏

魚類輸入通知書ヲ調製シ輸入港所轄鹽專賣官署ニ之ヲ送付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ税關ハ鹽專賣官署ヨリ追徴金納入濟通知書ヲ受理シタル後ニ非サレハ輸入者ヲシテ現品ヲ引取ラシムルコトヲ得ス

第一號書式

鹽及鹽藏魚類輸出通知書

輸出月日	輸出物種類	同數量	輸出先地名	積載船名	寄港地名	輸出者住所氏名	摘要
何月何日	鹽	何斤何	何々	汽船何丸	何	何府縣何郡市何町村何某	何月何日賣渡數量何斤ノモノ
何月何日	何	何斤何	何々	帆船何丸	何	何府縣何郡市何町村何某	何月何日賣渡數量何斤ノモノ
明治何年何月何日 何專賣支局(何出張所)宛 何 税 關 印							

第二號書式

(鹽及鹽藏魚類輸出整理簿)

備考
 一外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ニ付テハ摘要欄ニ於テ其ノ旨ヲ明カニスヘシ

告			備考
輸出先	積載船舶名	寄港地	
何々何	何々何	何々	

通知	輸出申		
	輸出年月日	輸物種類	輸出物數量
賣渡數量	明治何年何月何日 明治何年何月何日	何何	何斤何
何斤			

ノ通相定メ明治四十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年^{十月}大藏省訓令第二十五號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第一條 鹽專賣法第十九條第一項第一號ニ依リ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者鹽ノ輸出申告書ヲ提出シタルトキハ鹽專賣官署ヨリ發シタル鹽賣渡通知書ニ照査シ現品ヲ検査シテ其ノ數量ヲ檢定スヘシ

第二條 前條ノ檢定ハ鹽全部ノ重量ヲ秤量シテ之ヲ定ムヘシ但シ同一包裝ニ在リテハ百ニ付五ノ割合(五十以上ニ上ルトキハ五十ニ止ム)ヲ以テ適宜包裝ヲ摘出秤量シ其ノ數量ヨリ風袋量ヲ控除シタル平均量目ヲ全包裝數ニ乘シテ其ノ數量ヲ算定スルコトヲ得

第三條 鹽專賣法第十八條又ハ第十九條第一項第三號ニ依リ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者鹽ノ輸出申告書ヲ提出シタルトキハ現品ヲ検査シ第二條ニ依リ其ノ數量ヲ檢定スヘシ

第四條 鹽藏シタル練鯖又ハ鱈ノ輸出申告書ヲ提出シタル者アルトキハ現品ヲ検査シ第二條ニ準シ鹽藏魚類ノ重量ヲ檢定スヘシ

第五條 鹽、鹽藏魚類又ハ製成醬油ヲ輸出シタル者アルトキハ毎月末日第一號書式ノ鹽、鹽藏魚類及製成醬油輸出通知書ヲ調製シ第一條ニ該當スル鹽ニ付テハ賣渡鹽專賣官署ニ、鹽藏魚類及製成醬油又ハ第三條ニ該當スル鹽ニ付テハ輸出港所轄鹽專賣官署ニ之ヲ送付スヘシ

第六條 稅關ニ於テ醬油稅則第十三條ニ依リ外國ニ輸出シタル醬油ニ對スル造石稅下戻ノ決定ヲ爲シタルトキハ第二號書式ノ輸出醬油造石稅下戻決定通知書ヲ調製シ直ニ之ヲ輸出港所轄鹽專賣官署ニ送付スヘシ

第七條 稅關ハ第三號書式ノ鹽、鹽藏魚類及製成醬油輸出整理簿ヲ設備シ鹽賣渡通知書、鹽藏魚類及製成醬油輸出申告書等ニ依リ必要ノ事項ヲ記入スヘシ

第八條 稅關ハ毎月第四號書式ニ依リ鹽、鹽藏魚類及製成醬油輸出報告表ヲ調製シ翌月十五日迄ニ專賣局ニ報告スヘシ

第九條 交付金ノ下付ヲ受ケタル鹽藏魚類又ハ製成醬油ヲ輸入セムトスル者アルトキハ第五號書式ニ依リ鹽藏魚類又ハ製成醬油輸入通知書ヲ調製シ輸入港所轄鹽專賣官署ニ之ヲ送付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ稅關ハ鹽專賣官署ヨリ追徵金納入濟通知書ヲ受理シタル後ニ非サレハ輸入者ヲシテ現品ヲ引取ラシムルコトヲ得ス

第一號書式

鹽、鹽藏魚類及製成醬油輸出通知書

輸出月日	輸物種類	同數量	輸出先地名	積載船種船名	寄港地名	輸出者住所氏名	摘要
何月何日	鹽	何斤	何々	汽船何丸	何々	何府縣何郡市何町村何某	何月何日賣渡數量何斤ノモ
何月何日		何斤(石合)	何々	帆船何丸	何々	何府縣何郡市何町村何某	

明治何年何月何日

何專賣支局(何出張所)宛

何 稅 關 團

備考

一外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ニ付テハ摘要欄ニ於テ其ノ旨ヲ明ニスヘシ

第二號書式

輸出醬油、石稅下戻決定通知書

輸出者住所氏名	何府縣何郡市何町村何番地	何	某
輸出免狀番號	第何號	摘	要

輸 出 年 月 日	輸 出 年 月 日
明治何年何月何日	明治何年何月何日

出 申 告					備 考
輸 出 物 類	輸 出 物 量	輸 出 先	積 載 船 名	寄 港 地	
鹽 何	何 斤 何斤(石合)	何々 何々	何々 何々	何々	

第三號書式

(鹽、鹽藏魚類及製成醬油輸出整理簿)

一 醬油ノ輸出者ト戻稅ノ請求者トヲ異ニスル場合ハ其ノ事由及戻稅請求者ノ住所氏名ヲ摘要欄ニ記入スヘシ

備考

輸出年月日	輸出數量	積載船舶種船名	輸出先地名	陸揚年月日	造石稅下戻決 定年月日	輸出年月日	何稅關團
明治何年何月何日	何石合	汽(帆)船何丸	何々	明治何年何月何日	明治何年何月何日	明治何年何月何日	
何專賣支局(何出張所)宛							

鹽、鹽藏魚類及製成醬油輸出報告表

區 分	本月分	累 計	備 考
鹽專賣官署通知	斤	斤	
何專賣支局			
專賣支局何出張所			
輸 出 申 告			
鹽			
鹽 漬 鯿			
鹽 漬 鯖			
鹽 漬 鱈			
鹽 水 漬 鯿			
鹽 水 漬 鯖			
製 成 醬 油	合	合	

明治何年何月何日 何稅關長 氏 名 團

第四號書式

輸 出 者 住 所 氏 名	鹽專賣官署通知	
	賣 渡 年 月 日	賣 渡 數 量
何郡市何町村何某	明治何年何月何日	何 斤
何郡市何町村何某		

備考

一本表累計ハ四月ヨリ翌年三月ニ至ル分ヲ累計上スヘシ

第五號書式

鹽藏魚類及製成醬油輸入通知書

輸入月日	輸入物種類	同數量	輸入者住所氏名	摘要
何月何日	何	何斤	何府縣何郡 市何町村	何某
何月何日	何	(石合)	何府縣何郡 市何町村	何某
明治何年何月何日		何 稅 關 圖		
何專賣支局(何出張所)宛				

漁業用トシテ露領沿海州及樺太方面ニ輸移出スル内地鹽ハ明治四十三年ニ至リ英國鹽等ヲ直接產地ヨリ船積シテ漁業地ニ送致シ漁業用ニ供スルモノヲ増加シ此等所謂通過貿易鹽ノ妨クル所トナリ大ニ其ノ輸移出數量ヲ減シタリ依テ内地鹽ノ價格ヲ低減シ通過貿易鹽ニ對抗シテ此ノ方面ニ於ケル需要ヲ促スノ必要ヲ認メ明治四十四年三月鹽賣捌規則ヲ改メ同年四月以降ハ輸移出鹽ニ對シテハ當初賣渡ノ際徵收シ又ハ徵收スヘキ回送費ヲ全部下付又ハ免除スルコトトシタリ

千島列島ニハ從來鹽專賣法ヲ施行シタルモ同島ニハ鹽ノ生産ナク且漁業者ヨリハ其ノ漁業用鹽ニ對スル取扱上ノ不便ヲ除去スル爲同島ヲ專賣法施行地外ニ置カレタキ旨請願アリタルヲ以テ詮議ノ上漁業獎勵ノ爲明治四十四年五月同島(國後色丹ノ二郡ヲ除ク)ヲ以テ鹽專賣法不施行地トシ同時ニ同島ニ於ケル漁業用鹽ニ對シテモ移出鹽ノ取扱ヲ爲スコトトシタリ

露領沿海州及樺太千島方面ニ於ケル漁業用移輸出鹽ハ前記回送費ノ全免ニ依リ豫期ノ如ク大部分内地鹽ヲ以テ供給スルノ良果ヲ收メタルモ明治四十五年ニ至リ通過貿易鹽ノ價格低減ニ依リ動モスレハ其ノ需要該鹽ニ移ラムトスルノ狀勢ヲ呈シタルヲ以テ内地鹽ノ販路ヲ維持セムトス

ルニハ勢ヒ其ノ賣渡價格ヲ低減セサルヘカラサルコトトナリ茲ニ賠償價格ニ加算シタル專賣收益率ヲ全減スルノ必要ヲ認メ其ノ賣渡價格ノ告示ヲ改メ明治四十五年四月以降賠償原價ヲ以テ賣渡スコトトシタリ而シテ此ノ改正ニ依リ政府ハ輸移出鹽ヲ賣渡スニ付テハ事務費ヲ損失スルコトトナルモ露領沿海州及樺太千島方面ニ内地鹽ノ販路ヲ擴メ其ノ補充トシテ臺灣鹽及關東州鹽ヲ移輸入スレハ内地鹽ヲ販賣スルニ比シヨリ多クノ專賣利益ヲ收得スルコトヲ得ヘキヲ以テ之カ低減ヲ決行シタルモノナリトス

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則改正ニ伴ヒ尙左記事項改正ノ必要ヲ認メ鹽、鹽藏魚類及製成醬油ノ輸出ニ關スル稅關事務取扱方ヲ左ノ如ク改正シ大正元年十一月十日ヨリ之ヲ施行シタリ

一 包裝ヲ施シタル輸出鹽ノ數量檢定ニ際シ其ノ基準トナルヘキ摘出包裝數ハ從來百ニ付五ノ割合ナリシヲ事務簡捷上百ニ付三ノ割合(三十以上ニ上ルトキハ三十ニ止ム)ニ改メタルコト

二 輸出鹽ハ稅關ニ於テ實量ヲ秤量シ其ノ數量ヲ檢定スルヲ原則トスルモ鹽專賣官署ヨリ現品引取後直ニ輸出スル鹽ニ付テハ概シテ數量ノ異動ナカルヘキニ依リ賣渡數量ノ不突合ヲ避ケ且事務ノ簡捷上賣渡鹽專賣官署ノ通知ニ依リ該鹽ノ秤量ヲ省略シ鹽專賣官署ノ賣渡數量ヲ以テ檢定數量トスルコト

三 從來稅關ニ於テ鹽、鹽藏魚類及製成醬油輸出整理簿ヲ設備シ置キ其ノ輸出報告表ヲ專賣局ニ報告シ一面關係專賣支局ヘ其ノ輸出事項ヲ通知シ來リシモ重複ノ嫌アル故其ノ煩雜ヲ避クル爲右簿表ヲ廢止シ稅關ノ通知ニ基キ專賣支局ニ於テ右簿表ヲ設備整理シ輸出ニ關スル事項ヲ專賣局ニ報告スルコトニ改メタルコト

四 勅令改正ノ結果内地鹽以外ノ輸出鹽又ハ鹽藏魚類ハ交付金ヲ増加セラレルモノナルニ依

リ其ノ鹽ノ種類ヲモ關係簿書ニ記載スルコト
 大藏省訓令第二號 (大正元年十一月六日)

稅 關

明治三十八年勅令第五百十七號ニ依ル鹽、鹽藏魚類及製成醬油ノ輸出ニ關シ稅關事務取扱方中
 左ノ通改正シ大正元年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

第二條中同一包裝ニ在リテハ百ニ付五ノ割合(五十以上ニ上ルトキハ五十ニ止ム)ヲ同一包裝ニ
 在リテハ百ニ付三ノ割合(三十以上ニ上ルトキハ三十ニ止ム)ニ改ム

第三條ノ二 前二條ノ檢定ハ鹽專賣官署ヨリ現品引取後直ニ輸出スル鹽ニ限り賣渡鹽專賣官
 署ノ通知ニ依リ現品ノ秤量ヲ省略シ鹽專賣官署ノ賣渡數量ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第五條中鹽、鹽藏魚類又ハ製成醬油ヲ鹽又ハ鹽藏魚類ニ鹽、鹽藏魚類及製成醬油輸出通知書ヲ鹽
 及鹽藏魚類輸出通知書ニ鹽藏魚類及製成醬油ヲ鹽藏魚類ニ改ム

第七條、第八條削除

第一號書式中鹽、鹽藏魚類及製成醬油輸出通知書ヲ鹽及鹽藏魚類輸出通知書ニ改メ、(右合)ヲ削リ
 備考ニ左ノ一項ヲ加フ

内地鹽以外ノ輸出鹽ニ付テハ其ノ鹽ノ種類臺灣鹽上等又ハ竝等關東州鹽上等ヲ輸出物種類

欄ニ内地鹽以外ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル輸出魚類ニ付テハ魚類毎ニ其ノ使用鹽ノ種類並其ノ

種類毎ノ輸出物數量ヲ摘要欄ニ記入スヘシ

第三號書式、第四號書式削除

第五號書式ニ左ノ備考ヲ加フ

内地鹽以外ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル輸出魚類ニ付テハ魚類毎ニ其ノ使用鹽ノ種類並其ノ種類

毎ノ輸出物數量ヲ摘要欄ニ記入スヘシ

右改正事務取扱方ノ實行ニ付左ノ通牒ヲ爲シタリ

專賣局收納部長通牒甲第六〇七號 (大正元年十一月十四日)

本月六日大藏省訓令第二號ヲ以テ鹽、鹽藏魚類及製成醬油ノ輸出ニ關スル稅關事務取扱方改正相成候ニ付其ノ取扱方ノ實行ニ關シ各稅關ヘ訓達方長官ヨリ關稅局長ニ及照會候處別紙ノ通關稅局長ヨリ各稅關長ヘ通達有之候

尙交付金ノ下付ヲ受ケタル鹽藏魚類ノ輸入者ト輸出者ト異ナル爲使用鹽ノ種類不明ナル場合ノ取扱方ニ付本月六日甲第五六四號通牒十一ニ於テ鹽藏魚類賣渡人ノ住所氏名ヲ附記スルコトニ及通牒置候處更ニ關稅局ト打合ノ結果直接輸出者ヨリ買受輸入シタルモノナルトキハ輸出者ノ住所氏名ヲ若輸出者ト輸入者トノ間ニ鹽藏魚類ノ賣渡人介在スルモノナルトキハ其ノ賣渡人ノ住所氏名ヲ輸入通知書摘要欄ニ記附スルコトトシ輸出者又ハ賣渡人ハ本邦所在ノ者ヲ通知スルコトニ相成リ候ニ付之ニ就キ鹽ノ種類ヲ確メ追徵金ニ付テハ前記甲第五六四號通牒十一後段ノ趣旨ニ依リ御取扱相成度尤モ輸出者又ハ輸入鹽藏魚類賣渡人カ外國ニ在ル爲稅關ノ輸入通知書ニ附記ナキ場合ト雖輸入者ニ於テ使用鹽ノ種類ヲ證明スルニ足ル書類ヲ提出シ之ヲ確認セラルモノニ付テハ右ニ依リ相當追徵金ヲ徵收相成リ可然 右依命

大藏省關稅局長通牒往第一一七〇二號 (大正元年十一月九日)

△稅關長

今般本省訓令第二號ヲ以テ一部改正相成候鹽、鹽藏魚類及製成醬油ノ輸出ニ關スル稅關事務取扱方ノ實行ニ付テハ左記ノ通御取扱相成度此段申進候也

- 一 内地鹽以外ノ輸出鹽及内地鹽以外ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル輸出魚類ニ付テハ輸出申告書ニ鹽ノ種類ヲ記載セシメ之ニ依リテ輸出通知書ヲ作成スルコト
- 二 輸入鹽藏魚類ニシテ内地鹽以外ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタルモノナルトキハ輸入申告書ニ使用鹽ノ種類ヲ記載セシメ之ニ依リテ輸入通知書ヲ作成スルコト
ト若使用鹽ノ種類不明ナルトキハ該鹽藏魚類ノ本邦ニ於ケル輸出者又ハ賣渡人ノ住所氏名ヲ申告セシメ之ヲ通知書摘要欄ニ附記スルコト
- 三 輸出鹽又ハ輸出鹽藏魚類ヲ秤量ノ爲抽出スル包裝箇數ニ計算上端數ヲ生スルトキハ其ノ端數ヲ一箇トスルコト

右稅關事務取扱方ヲ改正スルト共ニ鹽專賣法施行地外移出鹽檢查手續ヲ左ノ如ク改正シタリ

專賣局長官達甲第五七九號 (大正元年十一月九日)

明治四十二年八月十四日甲第二五八六號鹽專賣法施行地外移出鹽檢查手續中左ノ通改正シ大

正元年十一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第四條第二項ヲ左ノ如ク改ム

鹽專賣法第十八條又ハ第十九條第一項第三號ニ依リ賣渡シタル鹽ヲ現品引取後直ニ移出スル場合ニ於テハ現品ノ秤量ヲ省略シ賣渡數量ヲ以テ檢定數量ト爲スヘシ

第五條第二號中「同一包裝鹽ニ在リテハ百ニ付五ノ割合五十以上ニ上ルトキハ五十二止ム」ヲ「同一包裝鹽ニ在リテハ百ニ付三ノ割合二十以上ニ上ルトキハ三十二止ム」ニ改ム

第一號乃至第五號書式中「等級」ヲ「鹽ノ種類等級」ニ改ム

大正元年中内地鹽賠償價格ノ引上ヲ行ヒタル爲輸移出鹽ノ賣渡價格モ其ノ原價ノ増加ニ伴ヒ増加スルコトトナリ外國鹽トノ競争上再ヒ困難ニ陥リ若シ其ノ儘ニ放任シ置クトキハ露領沿海州及樺太千島方面ニ於ケル内地鹽ノ販路ハ將來到底維持スルコト能ハサルニ至ルヘク其ノ結果トシテ臺灣鹽及關東州鹽ノ移輸入數量ヲ減少シ爲ニ專賣利益ヲ減却シ延テ鹽田整理ノ目的ノ大部分ヲ沒却スルノミナラス多額ノ正貨ヲ流出スルコトトナリ國家經濟上不利益ナルカ故ニ之ヲ救濟ノ方法ヲ講スルノ必要アリ而シテ之カ方法トシテハ現行以上ニ賣渡價格ヲ低減スルハ最モ捷徑ニシテ且有效ナルヘキモ原價ヲ損シテ賣下クルコトハ專賣ノ基礎ヲ危カラシムルモノナルヲ以テ賣渡價格ハ原價据置ノ儘トシ買受擔保ノ方面ニ於テ特典ヲ附與スルコトトシ鹽賣捌規則ヲ改正シ大正二年二月以降輸移出鹽ニ限り專賣局長官ノ指定シタル銀行ノ定期預金證書ヲモ其ノ買受擔保トシテ許容シ以テ輸移出鹽ノ販路ノ維持ニ努メタリ

露領水産組合ヨリ日本鹽原產地ヨリ内地ノ開港地ニ寄港シテ露領沿海州ニ向フ船舶ノ積載鹽ニ對シ鹽積載ノ儘稅關ニ於テ輸出鹽ノ檢定ヲ執行セラレ度旨請願アリ右鹽積載船ニ對シ封緘等相當取締ヲ施シ支障ナキニ於テハ稅關ニ於テ現品ノ秤量ヲ省略シ鹽專賣官署ノ賣渡數量ヲ以テ檢定スルコトトシ鹽、鹽藏魚類及製成醬油ノ輸出ニ關スル稅關事務取扱方中左ノ如ク改正シ大正二年四月二十日ヨリ之ヲ施行シタリ

大藏省訓令第七號（大正二年四月十二日）

明治三十八年勅令第五十七號ニ依ル鹽、鹽藏魚類及製成醬油ノ輸出ニ關シ稅關事務取扱方中左ノ通改正シ大正二年四月二十日ヨリ之ヲ施行ス

第三條ノ二中「直ニ輸出スル鹽ニ限リ」ヲ「直ニ輸出スル鹽ニ付テハ」ト改メ左ノ二項ヲ加フ
輸出ノ目的ヲ以テ鹽產地ニ於テ買入レタル漁業用内地鹽若ハ同上ノ目的ヲ以テ買受豫約ヲ爲シタル政府ノ回送鹽ヲ出漁用船舶ニ依リ鹽產地ヨリ開港ニ回送シ其ノ積載船舶ヲ鹽積付ノ儘外國貿易船ニ資格變更ヲ爲シ輸出スル鹽ニ付テハ其ノ積載船ニ施シタル封緘及積載鹽ニ異狀ナシト認メラルルモノニ限リ現品ノ秤量ヲ省略シ產地鹽專賣官署ノ通知ニ依ル鹽數量ヲ以テ檢定數量ト爲スヘシ

前項ニ依リ回送シタル積載鹽ノ一部ヲ開港ニ於テ他ノ外國貿易船ニ船移シ其ノ殘存積載鹽ヲ積付ノ儘外國貿易船ニ資格變更ヲ爲シ輸出スル鹽ニ付テハ封緘及積載鹽ニ異狀ナシト認メラルルモノニ限リ產地鹽專賣官署ノ通知ニ依ル鹽積込數量ヨリ他ノ外國貿易船ニ船移シタル數量ヲ控除シタル鹽數量ヲ以テ檢定數量ト爲スヘシ但シ積載鹽ノ一部ヲ開港所在ノ鹽專賣官署ニ引渡ス場合ニ於テハ稅關ハ立會ノ上積載船ノ封緘ヲ調査シ異狀ナシト認メラルルモノニ限リ殘存積載鹽ニ付現品ノ秤量ヲ省略シ賣渡鹽專賣官署ノ通知數量ヲ以テ檢定數量ト爲スヘシ

輸出貿易獎勵ノ爲一般定價鹽ヲ以テ鹽藏シタル乾鰓乾鮑ヲ輸出シタルモノニ對シ交付金ヲ下付スルコトニ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ヲ改正セラレタル結果鹽、鹽藏魚類及製成醬油ノ輸出ニ關スル稅關事務取扱方ヲ左ノ如ク改正シ大正二年十月十五日ヨリ之ヲ施行シタリ
大藏省訓令第十五號（大正二年十月十四日）

稅 關

明治三十八年勅令第五百十七號ニ依ル鹽、鹽藏魚類及製成醬油ノ輸出ニ關シ稅關事務取扱中左ノ通改正シ大正二年十月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中「鰈、鯖又ハ鱈」ヲ「鰈、鯖、鱈、乾鰾」ニ改ム

第四條、第五條、第九條中「鹽藏魚類」ヲ「鹽藏魚介類」ニ改ム

第五條第一號書式中「鹽及鹽藏魚類輸出通知書」ヲ「鹽及鹽藏魚介類輸出通知書」ニ、第九條及第五號書式中「鹽藏魚類」又ハ製成醬油輸入通知書ヲ「鹽藏魚介類及製成醬油輸入通知書」ニ改ム

第一號書式備考中「内地鹽以外ノ輸出鹽」ヲ「輸出臺灣鹽」又ハ關東州鹽ニ改メ「歐米粗製鹽」ヲ削ル

第一號書式及第五號書式備考中「内地鹽以外ノ鹽」ヲ以テ鹽藏シタル輸出魚類ニ付テハ魚介類毎ニ「臺灣鹽」又ハ關東州鹽ヲ使用シタル輸出鹽、鹽藏魚介類ニ付テハ魚介類毎ニ改ム

第十章 交付金下付及追徴

第一節 交付金下付

專賣鹽ハ其ノ使用スヘキ目的ニ依リ特別價格ヲ以テ低價賣下ヲ爲スコトトシ以テ其ノ外國輸出又ハ之ヲ使用スル農工業、漁業等ノ發展ヲ期シタリ然ルニ其ノ用途ニシテ賣渡當時ニ於テ定マレルモノニ在リテハ特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケ得ヘシト雖買受又ハ使用ノ便宜上專賣官署ヨリ賣渡ヲ受クル際ニ於テハ未タ用途ヲ定ムル能ハサルモノ少ナシトセス此ノ場合一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタルモノト雖他日同一用途ニ供用シタルトキニ在リテハ均シク其ノ恩典ニ浴セシメ使用上ノ便ヲ得セシムルヲ可トシ交付金下付ノ途ヲ開キタリ而シテ其ノ交付金額ハ專賣益金ニ相當セル金額ニ定メタルヲ以テ交付金ノ下付ヲ受クルトキハ鹽ノ價格ニ於テハ特別定價賣渡ヲ受